

22年産春野菜の需給・価格の動向

資料1-1

品目	4月上旬 価格				4月上旬 入荷量				主な産地	現状	今後の見通し
	価格	平年値	対前年同旬比	対平年比	入荷量	平年値	対前年同旬比	対平年比			
キャベツ	148	118	102.0%	125.3%	5,415	5,321	96.1%	101.8%	神奈川(49)、愛知(24) 千葉(17)	冬ものから春ものへの切り替わりの時期、付着した泥の洗浄作業などで出荷減少。寒さの影響で生育遅れ。一方、小売商材として引合い強い。	生育は遅れているものの回復できない状況ではなく、連休明けには、出荷が本格化し、価格も低下の見込み。
ね ぎ	386	270	170.7%	142.9%	1,574	1,571	94.5%	100.2%	千葉(50)、埼玉(25) 茨城(12)	冬ねぎは年明け以降の低温で細め(肥大不足)。また、今後春ねぎに移行するが、寒さのため生育が遅れている。	茨城産が増え、出荷量が回復すると見込まれる5月中旬までは高値が続くと見込まれる。
はくさい	124	93	85.8%	132.9%	1,893	1,989	99.7%	95.2%	茨城(96)	3月下旬から4月上旬にかけて出荷が減少し高騰したが、その後出荷は回復。	小玉傾向ながら出荷は安定しており、価格は沈静化しつつある。
ほうれんそう	696	448	125.8%	155.3%	446	457	107.0%	97.6%	群馬(31)、茨城(27) 埼玉(22)	強風のため付着した泥を落とす水洗いの必要が生じ、手間が増えたため、出荷量が減少。また、曇雨天、降雪のため収量減少	埼玉、群馬の出荷量が回復し、連休明けには価格が低下する見込み。
レ タ ス	304	192	115.4%	158.1%	2,291	2,350	98.2%	97.5%	茨城(65)、兵庫(12) 香川(7)	低温、降雨、日照不足で生育遅れ、小玉傾向。	現在の主産地である茨城では、低温、曇天の影響で収量が2～3割低い水準で過半の出荷を終了している。長野、群馬産が一斉に出荷を開始する5月以降は、価格は低下の見込み。
たまねぎ	141	99	143.6%	142.2%	3,844	3,946	92.9%	97.4%	佐賀(54)、北海道(34)	貯蔵ものの北海道産が、昨年の日照不足の影響により小玉傾向のため量が少ない。佐賀の極早生も低温で少ない。	15日以降にでてくる佐賀の早生はほぼ平年並み。出荷量は増加し、価格は徐々に低下する見込み。
きゅうり	328	253	116.0%	129.8%	2,055	2,268	87.3%	90.6%	埼玉(29)、群馬(23) 千葉(15)	日照不足、低温の影響で、草勢が低下、病害虫発生、生育の遅れにより収量減少。	埼玉産の無加温タイプのものが出荷量がピークを迎える5月中旬には、出荷量は回復する見込み。
ト マ ト	483	411	111.3%	117.6%	1,764	2,003	97.5%	88.1%	栃木(21)、熊本(17) 愛知(12)	1～3月の日照不足、低温により、花落ちしてしまい、結実量減少、また、生育の遅れにより収量減少。	5月いっぱい、小ぶり、収量低下が続く、出荷量は回復しない。
な す	467	323	128.9%	144.5%	924	1,256	83.7%	73.6%	高知(50) 福岡(21) 群馬(7)	3月の開花期における日照不足により花落ちなどで着果数が減少。また、日照不足と寒さによる生育の遅れにより収量減少。	高知の生育が遅れ、小ぶり、収量低下が続く、福岡も不作なことから、6月いっぱい、出荷量は回復しない。
ピーマン	683	435	122.6%	157.0%	657	809	85.1%	81.2%	茨城(61)、宮崎(20) 高知(14)	日照不足、低温により、結実量減少及び生育不良により収量減少。	生育が遅れている茨城産の出荷量が回復する5月下旬には、価格が低下する見込み。
だいこん	114	95	103.3%	119.6%	3,677	3,459	106.5%	106.3%	千葉(82)	低温により肥大がよくないことから収量が減少。	青森産の出荷が本格化する6月までは高値が続く見込み
ばれいしょ	170	128	126.9%	132.8%	2,925	2,893	99.5%	101.1%	北海道(52)、鹿児島(37)	北海道産が昨年の日照不足の影響により小玉傾向のため量が少ないが、九州産は昨年より多い。	九州産、関東近郊のものが出てくる5月には価格が落ち着く見込み。

注)主な産地は、東京都中央卸売市場の平成22年4月の入荷割合(見込み)。関東農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は入荷シェアである。